



鳥羽市議会議長

木下 順一 様

住 所 鳥羽市白木町141番地
議員名 南川則之

政 務 活 動 費 収 支 報 告 書

鳥羽市議会政務活動費の交付に関する条例第5条第1項に基づき、次のとおり政務活動費収支報告書を提出します。

1 収 入 政務活動費 156,000円 円

2 支 出

(単位:円)

科目	金 額	備 考
調査研究費		
研修費		
広報費	156,000	「南の風だより」発行
広聴費		
要請・陳情活動費		
会議費		
資料作成費		
資料購入費		
人件費		
事務費		
合計	156,000	

3 残 額 0円

支 出 伝 票

使途項目	広報費	
支出金額	156,000 円	
支出年月日	令和4年8月9日・令和5年2月2日	
使途内容	「南の風だより」印刷代・新聞折込代	
領収書・その他証拠書類		
<input type="checkbox"/> 裏面添付	第7号（令和4年8月 6日発行）印刷代・新聞折込代86,273円 第8号（令和5年1月28日発行）印刷代・新聞折込代85,794円 <div style="text-align: right;"> 印刷代・新聞折込代合計172,067円 うち政務活動費156,000円 自己負担 16,067円 </div>	
支出先	大和印刷	
按分率等		
備考欄		

領収証

No. _____

南川 則之 様

令和 5 年 8 月 9 日

金額	百万	十万	万	千	百	十	円
		7	8	6	2	7	3

内 訳	
現金	<input checked="" type="checkbox"/>
小切手	<input type="checkbox"/>
消費税額 (%)	

但 南川 則之 No.7 印刷紙及
上記金額正に領収いたしました 新藤 誠



〒516-0007 三重県伊勢市小浜町2-40

大和印 刷

TEL. 0596-36-2658
FAX. 0596-36-2658

扱者印

領収証

No. _____

南川 則之 様

令和 5 年 8 月 2 日

金額	百万	十万	万	千	百	十	円
		1	8	5	7	9	4

内 訳	
現金	<input checked="" type="checkbox"/>
小切手	<input type="checkbox"/>
消費税額 (%)	

但 南川 則之 No.7 印刷紙及
上記金額正に領収いたしました 新藤 誠



〒516-0007 三重県伊勢市小浜町2-40

大和印 刷

TEL. 0596-36-2658
FAX. 0596-36-2658

扱者印

南の風だより

子育て支援は一丁目一番地

鳥羽の子どもたちは鳥羽の主

今年、梅雨明けも6月27日と早く、暑い日が続いておりますが、市民の皆さん、お変わりなくお過ごしでしょうか。

鳥羽市がどのように発展すべきか、自分がどのような役割を担うべきか、市民の声を聞いて行動し、全力で働いていきます。

今回は市議会において、令和4年3月及び6月の定例会での私の質疑と一般質問を中心に報告させていただきます。

まず、3月本会議にて、質疑、一般質問を行った主な内容を分かります。掲載させていただきます。

令和4年度鳥羽市一般会計予算(質疑)

(質問) 未来の子どもたちへの投資事業など、どこに力を置いたのか聞きます。

(答弁 市長) 地域共生社会パッケージなど、特色に磨きかけた鳥羽

らしい取組が、子どもたちが大人になったとき、必ず鳥羽の力になっていると信じています。

国道167号白木IC改善近の渋滞緩和対策

(一般質問) 第二伊勢道路が開通したことで、緊急搬送及び時間短縮の状況を聞きます。

(答弁 消防長) 令和3年度中の救急出動件数は、1280件で、内、第二伊勢道路を使用した搬送件数は208件でした。第二伊勢道路は傷病者を安静に搬送することができ、医療機関への搬送時間も約6分間短縮されています。志摩市消防本部も令和3年度中、救急搬送で54件の使用があったと確認しております。

通勤ラッシュの朝の6時半から8時半まで、白木町内の市道を猛スピードで通過する

(質問) 車に町民も危険を感じております。市道は、児童生徒たちの通学路になっております。町内会でも町内徐行という大きな看板を設置し安全対策を行っております。道路管理者として市長の認識を聞きます。

(答弁 市長) 第二伊勢道路が開通してから、交差点付近の信号と白木の集落から出る信号のところで渋滞が発生し、白木の中を通る車が後を絶たないこともお聞きをしました。地域の皆様にとって安心できるように対応していきたいと思っております。

2022年8月6日発行

発行責任者 鳥羽市議会議員 南川則之 (みなみがわ のりゆき)

連絡先 〒517-0043 鳥羽市白木町141番地 電話 090-2687-8799

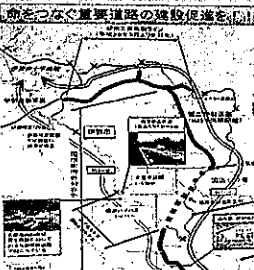
南の風だよりについて

北風のまじり、市民の皆さんの生活に冷たい風を吹き付けるのではなく、南の風だよりを通して市民の皆さんの日々の生活に温かい風を送り続けることに頑張りたいと考えています。市民の皆さんのご意見、ご要望を是非お寄せください。



伴い、渋滞緩和対策をどのように検討していますか。

(答弁 建設課長) 当面、白木IC交差点付近の渋滞緩和対策として、志摩方面から第二伊勢道路へ流入する左折レーンの検討をさせていただいています。



伊勢志摩連絡道路計画案

(質問) 国道167号白木IC交差点付近の渋滞緩和対策について聞きます。

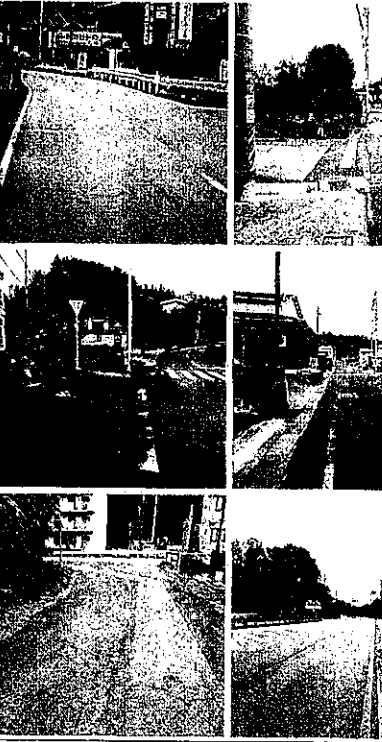
(答弁 副市長) 市長会の県政要望などに上げていただき、白木ICの抜本的な改良を、令和2年度要望から続けています。

平成27年度の交通量調査では、岩倉町地内で、一日当たり1万3444台、磯部町五知地内で7113台です。現在も交通量は増加傾向であり、歩行者への安全対策も急務です。速やかな対策を要望します。

市内における道路路面標示の現状と今後の対策

市内の国道、県道、市道の路面標示(センターライン、側線、停止線、止まれ線)の塗り直し費用は、県管理の国道、県道が、令和2年度延長21kmで事業費約3600万円、令和3年度延長約12kmで事業費約1100万円です。また、市が管理する市道は、令和2年度延長約2.3kmで事業費約140万円、令和3年度延長約2.3kmで事業費約140万円です。市長には、道路管理者として、しっかりと上を行き、道路利用者、通学路の安全面から早急に対応すべきではないかと質問しました。

(写真見、) 市内で路面標示が消えかかっている現状写真です。



(質問) 全国でも登下校中の生徒が死傷する事故が相次いでおり、通学路の安全面を心配する声が大きくなっています。加茂地区の保護者への学校統合に関するアンケート調査において、統合のデメリットで通学距離が延びること

生徒の負担が増える、安全面が心配と回答された保護者の状況を確認します。

(答弁 教委総務課長) 令和2年12月に実施した学校統合に関するアンケート調査では、回答率が60%、保護者87名から回答がありました。

通学距離が延びること、生徒への負担が増え、安全面が心配されると回答した保護者は61名で、割合は7割となっております。

(鳥羽市学校通学区審議会の答申 令和2年11月)

中学校の通学区再編の時期は、通学方法や通学路の安全確保等を前提に進めることが望まします。

(裏面にうつす)

中学校統合(計画)による通学路の安全確保(通学路)の確保

(岡村廣治さんのこの一枚) 岡村廣治さんは、伊勢志摩ネーチャーフォトクラブの会員です。

この写真は、令和3年2月25日に妙慶川でカヌーリカイツブリが魚を取り合っている様子を撮影したものです。

(この写真は、みえ県展で入選された作品です。)



(質問) 統合計画について市民へのパブリックコメントを実施しましたが、どのような意見がありましたか。

(答弁 教務総務課長) 令和3年1月に実施しました鳥羽市小中学校統合計画に対するパブリックコメントでは、加茂中学校の統合に係る意見としては、「学校から離れている学生が部活動を行った上で、安全に自転車で行く」という意見があった。また、関係機関に相談しているのを知りたい。安全が確保されない上での統合には納得できない。また、「施設整備及び通学路の安全確保のための整備工事などが未完成情况までは統合は行わないことを明記してください」との意見がありました。

(答弁 教務総務課長) 自力で通える分については、健康上のことも考えたと自転車や徒歩で、場合によっては電車の通学等々も使いながら個々の事情になってきますが、しっかりと話しを聞きながら進めていきたいと思っています。

近隣の南伊勢町の例

令和4年4月11日、南伊勢町教育委員会の担当者にスクールバス運行に関する聞き取りを行いました。

・南伊勢町では、3小学校、2中学校でスクールバスを利用している。
・基本は、徒歩通学は2km以内、自転車通学は2〜4km、スクールバスは、4km以上としている。

・令和4年度から、2km以内の船越地区からの要望で、道路が狹隘で通学に危険であると判断して、スクールバスの利用を認めている。
・スクールバスは、学校別に1年間の運行計画により積算



白木駅前 朝の渋滞状況(子どもたちは手を上げて渡っています。)

し、業者委託している。授業のある日、土日及び夏休み等の日を含み、生徒が学校に行く全ての日を運行しています。年間事業費は、約1億6000万円です。
・地域公共交通として、町営バスとコマンドバスも運行しています。

学校統合に関する懇談会

令和4年4月6日、学校統合に関する白木地区の懇談会を開催しました。14名の参加者があり教育長及び担当職員を交えて、約2時間半に及ぶ懇談会を実施しました。地域への懇談会は重要です。今後とも、注視して見守っていきたいと思います。



学校統合に関する白木地区懇談会

鳥羽市市営住宅の活用計画について



本会議場での写真

令和4年6月議会においては、「鳥羽市市営住宅の活用計画」について一般質問を行いました。

(質問) 現在、市が管理する市営住宅の使用戸数、入居者数などについて聞きます。

(答弁 建設課長) 市営住宅の建設戸数は676戸、管理戸数は547戸、その内使用戸数が333戸、入居者数は、632人となっています。

(質問) 解体すべき空家と用途廃止した戸数を聞きます。

(答弁 建設課長) 若杉団地、幸丘団地、落口団地、安久志団地、新田団地、鳥羽団地、小浜団地、池上団地、真萩山団地の全体で、解体すべき政策空家戸数は127戸、用途廃止した戸数は120戸となっています。

(質問) 居住でき、生活が可能な安楽島団地、安楽島第2団地、リバーサイド幸丘の準備空家となっている戸数を聞きます。

(答弁 建設課長) 安楽島団地の1号棟で10戸、2号棟で10戸、3号棟で12戸、4号棟で14戸、安楽島第2団地5号棟で14戸、6号棟で19戸、リバーサイド幸丘1号棟で4戸うち特定公共賃貸住宅分が2戸、2号棟で特定公共賃貸住宅分4戸で合計87戸が準備空家となっています。

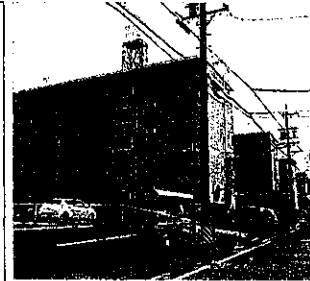
(質問) 公営住宅法に基づき耐用年数を経過した戸数は、若杉団地で43戸、幸丘団地で31戸、落口団地で9戸、安久志団地で12戸、鳥羽団地で1戸、小浜団地で8戸、池上団地で65戸、真萩山団地で80戸で合計249戸となっています。また、耐震性の低い戸数は、若杉団地が43戸、幸丘団地が31戸、落口団地が9戸、鳥羽団地が1戸、池上団地が65戸で合計149戸となっています。

(質問) 耐用年数を経過している市営住宅が249戸、耐震性等の安全性が確保されていないものが149戸です。現状の認識と安全性の観点から早急に対応すべきではありませんか。

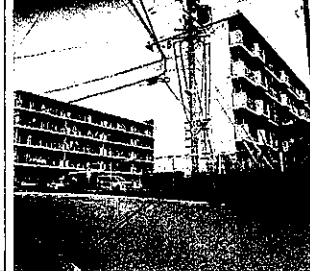
(答弁 副市長) 公営住宅の大きな目的である健康で文化的な生活という観点から、耐用年数を経過しているか耐震性がないというふうなところは問題であると考えます。耐震性が確保されている物件に空きがあまりないものばかりです。

(質問) 市営住宅団地で耐用年数を経過したもの、耐震性のないものはどれだけありますか。

(答弁 建設課長) 市営住宅団地で耐用年数を経過したものは、安楽島第1団地、安楽島第2団地、リバーサイド幸丘の準備空家となつてい



空き住戸が増えている1号棟から6号棟の市営住宅



空き住戸が増えている1号棟から6号棟の市営住宅

(質問) 2団地に転居していただくことについて、移転費用も含めた検討を進めています。

(質問) 安楽島団地、安楽島第2団地、リバーサイド幸丘などで空き住戸が87戸、その内特定公共賃貸住宅分が6戸となっています。これだけ空き住戸が増えるとして現在入居者の共益費などの負担軽減も必要ではありませんか。

(答弁 建設課長) 年々、1戸あたりの共益費の負担が増えてきています。令和3年度より浄化槽維持管理費を助成するための費用を予算化していますが、今後も助成金の交付をすることが、入居率向上に向けた施策を進めていきます。

(質問) 鳥羽市市営住宅の空き住戸の対策として、鳥羽高校或いは鳥羽商船高専などへ遠方から通学する学生の入居が考えられないか聞きます。

(答弁 市長) 学生のためは勿論ですが、その周辺エリア全体の活性化につながるように、鳥羽商船高専、鳥羽高校が役割を果たしていただけるよう活用方法を考えていきたいと思っています。

(質問) 鳥羽市の人口は、中村市長が就任された年の、平成29年3月末で1万9419人、令和4年3月末で1万7437人で、この5年間で1982人減少しています。

住宅跡地の売却と空き住戸を無くす対策など市営住宅の活用も、人口減対策につながると思います。

しっかりと対策を講じていきたいと思います。

南の風だより

奥谷地区周辺の防災・減災対策

さらなる取り組みは喫緊の課題

令和五年を迎えました。市民の皆さん、お変わりなくお過ごしでしょうか。

鳥羽市がどのように発展すべきか、自分がどのような役割を担うべきか、市民の声を聞いて行動し、全力で働いていきます。

今回は市議会において、令和4年9月及び12月の定例会での私の一般質問を中心に報告させていただきます。

9月本会議

奥谷分館の老朽化対策

(質問)
自主防災会の資機材保管や集会所施設である中央公民館奥谷分館の老朽化対策について聞きます。

(答弁 生涯学習課長)
平成29年度以降、令和3年度までの5年間の整備・修繕を行っています。今年度、町内会からの要望により、応急的措置として、屋根のシール補強、軒の支柱による補強、外壁補修を検討しています。

2023年1月28日発行

発行責任者 鳥羽市議会議員 南川則之 (みなみがわ のりゆき)
連絡先 〒517-0043 鳥羽市白木町141番地
電話 090-2687-8799

直近10年間の奥谷川 災害復旧状況

(質問)
普通河川奥谷川は、大雨が降ると甚大な被害がある河川です。直近10年間の災害復旧状況について聞きます。

(答弁 建設課長)
直近10年間で、総事業費約4000万円の事業を実施しています。奥谷川の暗渠部分で、平成27年度に320立米、平成29年度に360立米の堆積土砂を撤去しています。

防災支心の必要性

(質問)
奥谷地区の防災ダム建設について以前から町内会の要望を受けて、三重県へ要望して

いたっていますが、早期の事業実施に向けて三重県への働きかけについて聞きます。

(答弁 副市長)
平成29年度に発生した土砂流出の現場を確認した折、砂防事業の必要性を強く感じました。いまだ事業化に至っていない状況ですが、用地さえ解決したら可能かと思えますので、地元町内会の協力を仰ぎつつ、県と連携して事業化できるように努力したいと考えています。

奥谷川災害復旧工事現場



奥谷川災害復旧工事現場

南の風だよりについて

北風のよき、市民の皆さんの生活に南の風を吹かせるべく、南の風だよりを通じて市民の皆さんの生活に温かい風を運り続けたいと考えています。市民の皆さんのご意見、ご要望を是非お寄せください。

市職員が活力を発揮する取組の推進

(質問)
コロナ禍の中で働くエッセンシャルワーカー及び各職場で働く職員の業務専念状況についてどのように実感していますか。

(答弁 市長)
「コロナの収束が見えない中、ワークチームをはじめ多くの関係職員、その他のエッセンシャルワーカーなど、本当によく頑張っている業務に当たっていただいていると思っております。少しでも職員の負担軽減を図られるよう、国・県に強く要望、申し入れを行っています。



ために、当務者の最低人員を定めていることによるものです。近隣の伊勢市消防本部で平均12日、四日市市消防本部で平均19・1日です。

(質問)
消防本部の過酷な労働環境が伺えます。しっかりと改善していただきたいと思えます。

(答弁 副市長)
市職員が活力を発揮する取組める職場環境づくりを実現するために、今後の取組み強化について聞きます。

(質問)
鳥羽市では保育所において、会計年度任用職員に主任任を持たせていますが、担任手当の創設など他市の状況も研究し、処遇改善するのはいかがでしょうか。

12月本会議

鳥羽市清掃センターの焼却処理施設解体撤去工事

(質問)
平成26年4月から焼却炉の稼働を終了し、外観的にも煙突部分の老朽化、焼却施設建屋の雨漏り、焼却炉本体部分の有毒物質の汚染状況も心配されます。市長はこの焼却処理施設の解体撤去工事を政策的にどのように実施していきますか。

(答弁 市長)
議員が言われるような懸念はもっているところです。実施計画には位置づけしていますので、地元協議を重ね、今後の他事業のバランスも見ながら進めていきます。

最終処分場の廃止と跡地利用計画

(質問)
鳥羽市清掃センター協議会で、松尾町内会に最終処分場の廃止及び施設の解体計画と跡地利用計画の方向性についてどのように説明していますか。

(答弁 副市長)
最終処分場の廃止については技術基準が環境省から出ていますので、それに適合する形で閉鎖していくよう順次整備を進め、焼却施設の跡地利用については解体後に資源循環型の構築に資する施設整備の検討をする」と説明しています。

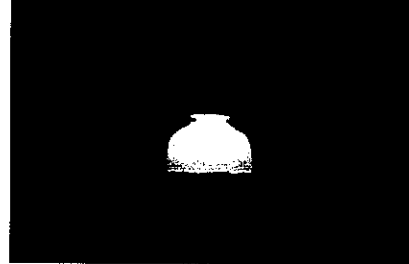
鳥羽市リサイクルパークの活用

(質問)
鳥羽市リサイクルパークは、国内外からも多くの方々に見学、研修に来ていただき、ごみの減量とリサイクルを通じた市民の交流の場となっています。鳥羽市リサイクルパークを広め、さらに何か所目づくりをしていく考えはないですか。

(答弁 市長)
地域で場所もあり、ニーズと人材もあれば広げていくことはやぶさかではないです。

(岡村廣治さんの一言)
岡村廣治さんは、伊勢志摩ネーチャーフォトリップの会員です。

この写真は、昨年11月中旬、鳥羽市石鏡町で伊勢湾から昇る朝日に岡村さんがカメラを向けていたところ、水平線から姿を現した太陽の上部の両側に切れ込みが入り、伏せたお椀の高合を思わせる形になりました。たなびく雲と太陽が重なり、このような形が出現しました。



(裏面に続く)

